



地域防災の要である消防団員確保の取組 ～佐賀を守る「みんな」のヒーロー消防団～

佐賀県 危機管理防災課 消防保安室

1 背景

佐賀県は、火災のみならず、古くから川の氾濫や浸水、台風などの災害に襲われてきたこともあり、消防団の組織率は非常に高く、各地の消防団は先頭に立って災害対応を行ってきました。近年、気候変動により自然災害が頻発化、激甚化する傾向が増えているなか、益々、消防団に対する期待は高まっています。

消防団員の確保は、消防団を設置する市町が主体的に行ってきましたが、全国的な流れと同様、団員数が減少傾向にあるなか、県においても確保対策の推進が求められています。

2 取組の内容

佐賀県では、県・市町・佐賀県消防協会と協議し、それぞれの役割を確認しながら団員確保に取り組んでいます。

県は、市町が行う団員の直接勧誘の後押しを行っています。消防団を身近に感じてもらい、また、消防団の必要性、重要性についての理解を深め、入団促進につながるよう、市町・協会が行う確保策の支援（助成）を行うとともに、様々な広報活動を展開しています。

(1) 市町の確保策に対する支援（助成）

市町がその実情に応じ実施する確保対策に必要な費用の2分の1を限度に助成を行っています。バスのラッピング、ケーブ

ルテレビ、情報誌等で広報を行うほか、OB団員に謝金を支給して団員勧誘をお願いし、新規入団数の増加につなげた例もあります。

(2) メディアによる情報発信

“佐賀を守る「みんな」のヒーロー消防団”というロゴを作成し、メディア（テレビ・新聞）で全市町の消防団活動の紹介や入団を呼びかけ、近年は若い年齢層に対しSNSを活用した情報発信を展開しています。

新聞では地元紙の一面に全市町の消防団の若手団員が入団の動機、やりがいなどを紹介。テレビでは訓練の様子をまとめたショートCMや特集番組を放映。YouTubeやインスタグラムでも広報を展開しています。



“佐賀を守る「みんな」のヒーロー消防団”ロゴ



県で作成した消防団PR動画

